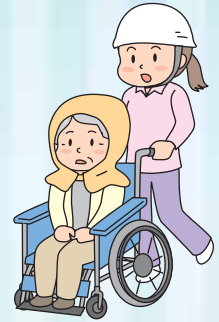


- ①マップづくりは、要支援者宅(一人暮らし、高齢者世帯・障害児者等)、支援者宅と危険箇所や除雪優先歩道を色分けし確認。
- ②避難行動要支援者名簿には、迅速な避難行動ができるよう身体状況等に合わせ細分化し記載。

区分	避難行動
S	専門職での事前避難が必要な方
A	専門的支援と地域の方々に避難できる
B	地域の方々と避難できるが一般避難所での生活は困難
C	一部支援や見守りで生活でき、個人で避難できる



- ③避難誘導時や避難先での留意事項、緊急連絡先等を記載した「個別避難計画」の作成。



毎年、多くの方々に参加していただき、マップづくりのほか、新たに加わった内容も自然に話し合いが進められ、過去の雪害や台風19号を振り返りながら真剣に行われていました。マップづくりは、世代を超えた地域の関係づくりのきっかけとし、情報共有することで災害時に必要となる地域力「近助」へつなぐと考えられます。

令和4年1月6日には、皆様からの情報をもとに避難行動要支援者(S・A区分)の「個別避難計画専門職会議」を開催し、避難経路や避難場所等の具体的な内容を作成し、各自治会役員へ配布させていただきました。



平成26年2月大雪

